



公益・正大・誠実

NO.  
41

2017 JANUARY

# 協会ニュース

きれいな水を未来へ



江津湖の初日の出(平成29年1月1日撮影) 撮影場所:熊本市下江津湖

写真提供:水前寺江津湖公園管理事務所

熊本県知事指定検査機関

公益社団法人 熊本県浄化槽協会



NO.  
41  
2017 JANUARY

協会ニュース  
公益社団法人熊本県浄化槽協会

## CONTENTS

ごあいさつ	1
平成28年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰	2
平成28年度環境整備功労者知事表彰(浄化槽関係)の受賞者決定について	
第30回全国浄化槽大会	3
熊本地震に関する要望書の提出	
環境省「熊本地震浄化槽被害状況調査」にあたって	4
全国浄化槽団体連合会「大規模地震被害実態調査費等事業」の実施について	5
第30回全国浄化槽技術研究集会	6
公益財団法人日本環境整備教育センター創立50周年記念行事	
国立研究開発法人国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター視察	7
「浄化槽シンポジウム大分2016」において「熊本地震」に関する報告	8
平成28年熊本地震に係る感謝状の贈呈について	
支部活動報告	9
平成28年度九州地区浄化槽検査員研修会	
平成28年度浄化槽法指定検査機関四国地区協議会検査員研修会	10
平成28年度地域(保健所)別連絡会議	11
熊本工業高校インターンシップ受入について	12
各種イベントに参加	13
11条検査の受検勧奨の実施について	14
単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換助成事業について	
平成29年度浄化槽整備推進関係予算(案)の概要	15
平成28年度職員研修の実施について	16
交通安全研修の実施について	
協会からのお知らせ	17
・前会長の島田好久様が平成28年秋の叙勲において 旭日双光章(環境衛生功労)を受章されました	
・入退会の状況	
編集後記	
平成28年度浄化槽技術講習会の開催について	18

## 協会からのお知らせ

## 前会長の島田好久様が平成28年秋の叙勲において 旭日双光章（環境衛生功労）を受章されました

政府は平成28年11月3日付で平成28年秋の叙勲受章者を発表し、当協会の前会長 島田好久様（水俣支部（有）水俣浄化槽管理センター）、（前熊本県環境整備事業協働組合理事長）が旭日双光章（環境衛生功労）を受章されました。おめでとうございます。

## 入退会の状況

### 退会

平成28年9月7日付（有）川本電設（天草支部）  
平成28年10月13日付（有）松井建設（宇城支部）



あけましておめでとうございます。

昨年は4月の熊本地震に続き6月の大雨、10月の阿蘇の噴火と、自然災害の脅威に振り回された本当に大変な1年でした。

しかし、皆様の献身的で懸命な復旧作業により熊本は確実に復興に向け前進しております。

協会では昨年、環境省と全浄連からの依頼により会員事業所のご協力を得ながら浄化槽の被害調査を実施いたしました。

今年は調査結果に基づき、浄化槽の機能の復旧に向けて全力で取り組む所存です。今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸を、なによりこの1年を無事にお過ごしくくださいますよう心よりお祈り申し上げます。

総務常任委員会

## 編集後記

## お知らせ板

### 平成28年度浄化槽技術講習会の開催について

協会では浄化槽の製造、施工、保守点検及び清掃実務者の技術力向上を目的とした浄化槽技術講習会を今年度も全体研修と専門研修に分けて下記内容にて開催致します。

多数のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時 平成29年2月16日（木）午後1時～午後5時（受付：正午～）
2. 場所 メルパルク熊本（熊本市）
3. 次第

◆全体研修◆（会場：根子岳）午後1時05分～午後2時50分

演題：「最近の浄化槽行政について」（仮題）

講師：環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課 浄化槽推進室 指導普及係長 井上 剛介様

演題：『浄化槽設置に伴う事務手続き等について』

講師：熊本県 土木部 建築住宅局 建築課

演題：『浄化槽法における手続きと適正な維持管理について』

講師：熊本県 土木部 道路都市局 下水環境課

休憩・移動

午後2時50分～午後3時05分

◆専門研修◆ 午後3時05分～午後5時00分

●分科会1（製造・施工関係）（会場：白川）

演題：『地震後の修理・入替えにかかる判断のポイント等について』

『浄化槽工事の安全対策（プレキャスト工法含む）について』

『構造例示型から性能評価型浄化槽への変遷及び性能・構造の比較等について』

講師：（一社）浄化槽システム協会 技術委員会 委員長 古市昌浩様

●分科会2（維持管理関係）（会場：根子岳）

演題：『浄化槽被害対策マニュアルについて』

『被災浄化槽に関する維持管理ポイント等について』

講師：（公財）日本環境整備教育センター 調査・研究グループ 第1チームリーダー 柳田 陽 様

以上

平成 28 年 12 月 22 日  
環境省産業部・中核部  
廃棄物対策課 浄化槽推進室

平成 29 年度浄化槽整備推進関係予算(案)の概要

1. 浄化槽整備推進のための国庫助成

生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、市町村等が実施する浄化槽整備を推進するとともに、地球温暖化対策に資する浄化槽の省エネ改修に対して国庫助成を行う。

- 循環型社会形成推進交付金(浄化槽分) 8,421百万円  
【28年度補正 1,000百万円】

新○ 二酸化炭素排出抑制事業費等補助金(浄化槽分) 1,000百万円

予算事項	平成28年度 予算	平成29年度 予算(案)	平成29年度 予算(案) 対前年度比
循環型社会形成推進交付金	(8,924)*	(9,039)	(101.3%)
二酸化炭素排出抑制事業費等補助金	—	1,000	—
計【29年度】	(8,924)	(10,039)	(112.5%)
循環型社会形成推進交付金 【28年度補正】	—	1,000	—
計【28年度補正+29年度】	(8,924)	(11,039)	(123.7%)
	8,421	10,421	123.8%

\*上段( )は、内閣府(沖縄)、国土交通省(北海道、福島)計上分を含む額

上記の他、

- 地方創生汚水処理施設整備推進交付金(内閣府計上) 4.01億円の内数  
地方創生の更なる東北のための「地方創生推進交付金」のうち、汚水処理施設整備(浄化槽、下水道、集落排水のうち2種類以上)を総合的に整備するための交付金。  
(平成28年度に創設)

2. 国庫助成の内容

<循環型社会形成推進交付金/地方創生汚水処理施設整備推進交付金>

- 環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業【個人設置型、市町村設置型】  
環境配慮型浄化槽(省エネ化、コンバクト化、再生材使用、ディスプレイ対応)を推進するとともに、集落転換促進施設策及び強靱なまちづくり施策と組み合わせ総合的に推進する。(助成率1/2)
- 公的施設集落処理浄化槽中核事業【市町村設置型】  
単独転換促進の指導を行う立場である地方公共団体が所有する単独処理浄化槽が、全国で約5万基近く残存しているため、合併処理浄化槽へ転換する費用を助成する。  
(助成率1/3、助成率1/2)

- 改○ 広域連携による市町村設置型の基礎要件緩和【市町村設置型】  
市町村設置型浄化槽の基礎要件(年20戸以上)について、広域連携※を実施する場合、構成市町村全体で適用し、市町村設置型の新規導入を促すとともに、既に市町村設置型を実施している市町村の運営管理効率化を図る。  
※地方自治法に基づき(広域協働)、「協議会」、「事務の委託」、「事務の代行執行」等による連携を想定

<二酸化炭素排出抑制事業費等補助金>

- 新○ 省エネ型大規模浄化槽システム導入推進事業  
既設大型合併処理浄化槽(101人槽以上を想定)にかからず、省002型の高効率化設備(高効率プロロー、インバータ制御装置等)の導入・改修費について、地方公共団体や民間団体に補助する。(補助率1/2間接補助)

3. 浄化槽の整備推進にかかる行政経費

- 新○ 地域くらしの水環境整備促進事業(浄化槽整備推進費) 29百万円  
単独転換に積極的に取り組む市町村において、整備促進効果を高めるための取り組みを支援する「地域くらしの水環境整備促進モデル事業」を実施し、その効果検証を行う。また、自治体、市民、NPO等における浄化槽の普及啓発のためのフォーラムや行政会議を主催実施する。
- 浄化槽情報整備支援事業費 50百万円  
単独転換や適正な維持管理の確立及び災害対応力の強化に向けて、浄化槽台帳システムへの導入に前向きな自治体に対し、導入に際して地域ごとに異なる諸課題への解決策の支援を行うとともに、同様の諸課題を抱えている自治体に情報提供することにより、浄化槽台帳システム全体の整備促進を図る。
- 浄化槽システム強靱化事業(拡充) 16百万円  
災害復旧対応を含め浄化槽台帳システムの新たな利活用や浄化槽システム全体での災害対応力の強化について調査検討を引き続き行うとともに、平成29年度は浄化槽の関係団体、維持管理業者における情報ツールの101北の促進策の検討を行う。
- 我が国循環産業の戦略的国際展開・育成事業 15百万円  
「2030年までに、未処理の排水の割合半減」、「2030年までに、排水処理技術など、開発途上国における水と衛生分野での国際協力と能力構築支援を拡大」等の持続可能な開発目標(SDGs)に貢献するため、浄化槽等の日本発の優れたし尿処理技術の国際展開を図る。

4. その他

- <東日本大震災復興交付金として復興庁計上>
- 低炭素社会対応型浄化槽等集中導入事業  
東日本大震災により被害のあった地域における、低炭素社会対応型浄化槽(市町村設置型・個人設置型)及び通常型浄化槽(個人設置型)の迅速な整備について財政支援を行い、被災地の生活排水対策の早期回復を図る(平成32年度まで継続)。

平成28年度職員研修の実施について

協会では職員を対象にした研修を実施いたしております。

今年度も協会職員研修講師の榊ベストビジネス 代表取締役 岡部穂積先生による管理職研修(7月・9月)、検査員専門研修(9月)、全職員を対象に協会理事・監事に講師をお願いしご講話いただく研修も実施中です。

平成28年9月までに実施された研修の実施状況

研修日	講師名	役職	対象職員
平成28年 7月15日	榊ベストビジネス 岡部 穂積 様	講師	部長・グループ長
平成28年 9月9日	榊松岡清掃公社 松岡 修 様	理事	全職員
平成28年 9月26日	榊ベストビジネス 岡部 穂積 様	講師	部長・グループ長
平成28年 9月30日	フジクリーン工業(株) 甲斐 秀人 様	理事	検査員・検査事務

交通安全研修の実施について

平成28年12月27日(火)当協会会議室において全職員を対象とした安全運転講習会を実施しました。この講習会は管轄の御船警察署の指導により毎年実施しております。

今年もスライドを使いながら運転の際の危険箇所等や実際に起こった事故等を解析しながら詳しくご説明いただきました。



## 各種イベントに参加

浄化槽に関する周知啓発活動による認知度の向上を目的に、パネルの展示、パンフレットの配布や浄化槽についてのアンケート調査を各支部や行政機関と連携しながら実施いたしております。下半期の各種イベントへの参加状況は以下のとおりです。

イベント名	開催日	開催場所
こうし市エコまつり	平成28年10月30日(日)	熊本県農業公園カントリーパーク
第8回みなまた産業団地まつり	平成28年11月6日(日)	水俣産業団地
あらお環境まつり	平成28年11月12日(土)	荒尾市中央公民館



## 11条検査の受検勸奨の実施について

協会では、浄化槽管理者義務(点検・清掃・法定検査)の周知と公共用水域の適正な水質保全を図ることを目的に、法第11条検査の未受検者に対し浄化槽法事務の権限を持つ市町村・保健所と共同で受検勸奨を行っております。

今年度は地震による地域の被災状況に配慮しながら市町村・保健所の担当課と調整を図り、平成28年9月から平成29年1月までの日程で受検勸奨文書の通知、現場訪問、広報誌による周知等を実施中です。12月末現在の受検勸奨通知の実施状況は以下のとおりです。

この受検勸奨により判明した下水直結・廃止・休止等の情報は、浄化槽管理台帳の整備にも生かされます。

なお、受検勸奨及び現場訪問の結果として、受検拒否の回答者については随時担当保健所・市町村への報告と指導要請を行っております。

会員の皆様へは、浄化槽管理者からのお問合せ等で大変お世話になりますが、今後ともご協力の程よろしくお願い致します。

### 受検勸奨通知実施状況(平成28年12月末現在)

未受検者数	通知発送数	返信数	返信率	内訳	
				依頼数	依頼率
42,739	8,336	705	5.9%	510	5.2%

## 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換助成事業について —平成28年度申請受付は終了しました—

協会では合併処理浄化槽の普及を促進し、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止することを目的に、「単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換助成事業」を平成24年度から実施しております。

毎年大変好評で今年度も多くの申請があり、助成予定設置基数に達し申請受付を終了いたしました。ご協力いただきありがとうございました。

平成29年度につきましても実施予定ですので、既存単独処理浄化槽からの転換を実施される際には是非ご利用いただけますようよろしくお願いいたします。

準備ができましたらホームページ等でお知らせいたします。

※この事業は転換助成額が1件あたり50,000円で、平成28年度は30件の申請を受け付けました。助成は予算の範囲内で実施され、実施要項に従いご申請いただけます。助成金の交付には、当協会会員が設置工事を行うことを要件の一つとしております。



## 平成28年度地域(保健所)別連絡会議

平成28年10月27日(木)から11月25日(金)にかけて各支部(一部合同開催)において、以下の内容で地域(保健所)別連絡会議が開催されました。

この会議は、行政、会員、協会が一堂に会し浄化槽に関する意見の交換や情報の共有を目的に毎年開催されるもので、本年で19回目となります。

会議では、県下水環境課から生活排水対策の実施状況等の情報提供(熊本支部では熊本市浄化対策課)があり、その後活発な意見交換が行われました。

### 【熊本市下水環境課からの情報提供等】(熊本支部を除く全支部)

- 1) 生活排水対策の実施状況について
- 2) その他

### 【熊本市浄化対策課からの情報提供等】(熊本支部)

- 1) 熊本市における浄化槽行政について
- 2) その他

### 【検討及び意見交換】(全支部共通)

- 1) 熊本地震により被災した浄化槽への対応について
- 2) 新設浄化槽への設置補助廃止及びびみなし浄化槽の転換促進に伴う対応について
- 3) 無管理・無清掃及び法定検査の未受検者に対する指導実績について

### 【行政機関からの協会及び業界への要望・意見等】(全支部共通)

### 【報告事項】

- ① 法定検査実施状況報告について
- ② 浄化槽の放流水質について
- ③ 地震被害調査について
- ④ 平成28年度浄化槽技術講習会について
- ⑤ その他

### 開催状況

支部	会員出席数	開催日	開催場所
熊本	25	11月16日(水)	熊本ホテルキャッスル
有明	11	11月2日(水)	司ロイヤルホテル
山鹿	5		
菊池	7		
阿蘇	2		
御船	12	11月17日(木)	ホテルエミナース
宇城	18	11月18日(金)	松橋ホワイトパレス
八代	11	11月4日(金)	八代グランドホテル
水俣	14	11月25日(金)	あらせ会館
人吉	14	11月11日(金)	鍋屋本館
天草	22	10月27日(木)	プラザホテルアネックス
計	141		
(参考)H27	142		



## 熊本工業高校インターンシップ受入について

今年度も熊本工業高校の生徒2名をインターンシップ(就業体験)で受け入れました。

今年は12月5日(月)から12月9日(金)までの5日間、浄化槽に関する講義、水質分析課分析員補助、事務員補助、法定検査に同行し仮設住宅の7条検査と精度管理11条検査の現場体験も経験してもらいました。二人とも毎日真面目に一生懸命取り組み、最終日の挨拶のあとには就業体験のお礼として、お正月用の折り紙を使った手作りのコラージュをいただきました。このコラージュはお正月に協会に飾らせていただきました。

### 【実習生徒】

工業化学科 2年 上山 竜一郎くん  
2年 中竹 大喜くん



## 支部活動報告

平成28年度の支部活動として、天草支部は平成28年11月19日(土)に天草市牛深町牛深ハイヤ大橋横芝生広場沿いの街路で美化活動を行ないました。この美化活動は水環境の保全、合併処理浄化槽の普及啓発、法定検査の周知を目的に毎年実施されております。

当日は支部会員・協会職員等37名が参加し、街路樹の根元などの除草と防草シートを敷設、ゴミ拾いなどの清掃を行いました。活動の様子は熊本日日新聞にも掲載されました。



## 平成28年度九州地区浄化槽検査員研修会

平成28年11月22日(火)に、「平成28年度九州地区浄化槽検査員研修会」が宮崎市のニューウェルシティー宮崎で開催されました。協会からは8名の検査員及び水質分析員、他の九州地区検査機関から80名、交流を開始してから5年目となる四国地区の検査機関から9名の計97名の参加がありました。

主催者である九州地区浄化槽指定検査機関協議会会長で(公財)宮崎県環境科学協会副理事長 佐藤健司様からの挨拶のあと、講演と研究発表が行われました。

講演は、宮崎県環境森林部環境管理課 水保全担当 東崎無我様より「宮崎県における浄化槽台帳システムの整備と浄化槽の適正管理について」と題し、関係機関の情報連携による適正管理の推進の状況等の報告がありました。

その後の研究発表では、9月に開催された四国の検査員研修会での研究発表で優秀だった(公社)愛媛県浄化槽協会を始め、(公財)福岡県浄化槽協会「放流水質が悪化している浄化槽の水質改善事例」、(公財)鹿児島県環境検査センター「保守点検記録による水質悪化施設の改善状況の確認について」等、7つの指定検査機関から発表がありました。当協会からは、野村法定検査部長が「熊本地震への対応について」と題し、熊本地震への協会及び法定検査の対応と現状について報告しました。九州地区指定検査機関協議会では、不適正浄化槽の改善事例等を取りまとめて報告書を作成することとしています。また、平成29年度は熊本県浄化槽協会が当協議会の事務局となることから、九州地区検査員研修会も熊本県で開催されます。



## 平成28年度浄化槽法指定検査機関四国地区協議会検査員研修会

平成28年9月15日(木)・16日(金)の2日間にわたり、「平成28年度浄化槽法指定検査機関四国地区協議会検査員研修会」が徳島市の徳島グランヴィリオホテルで開催され、当協会から4名、他の九州地区から19名、東北・北海道・中部地区から18名、そして四国地区から66名、計107名の各指定検査機関の検査員等が参加しました。

1日目は、開催県である(公社)徳島県環境技術センターより開講挨拶があり、引き続き基調講演(演題:「浄化槽および法定検査の将来展望」常葉大学社会環境学部 小川浩教授)とパネルディスカッション(検査機関が将来に向けて取り組むべき検討課題等)が行われました。さらに分科会が【受検率向上研究会】、【検査精度向上研究会】、【改善手法研究会】、【検査機関女性職員研究会】の4つに分れて活発な議論が行われました。

特に今回は、初めて女性職員の研究会が開催され、当協会からは松本検査事務課長が参加し、女性の力で指定検査機関を盛り上げていこうというコンセプトのもと、各指定検査機関の女性職員が集まり、女性が検査に係わる業務を担当することでの成果や不利な事例、様々な悩みや女性の視点から見た効果的な法定検査普及啓発等の各議題についての報告があり、他の指定検査機関での対処法やアドバイス等活発な意見が交換されるよい機会となりました。

2日目は、各研究会のまとめの発表後、(一社)日本アンガーマネジメント協会の浪越あゆみ先生によるビジネスマナー研修「アンガーマネジメント入門講座」が開催されました。その後行われた四国各県からの研究発表会では、(公社)愛媛県浄化槽協会の「油分の簡易測定法の活用について」等、色々な観点から浄化槽の未来を考えた発表が行われました。

四国地区と九州地区の研修会での交流は今年で5年目となりますが、各指定検査機関の方向性や現在ある問題点、それに対する対策や工夫等を知ることができ、今年も大変参考になる研修内容となりました。



基調講演  
「浄化槽および法定検査の将来展望」  
講師 常葉大学 社会環境学部 教授 小川 浩 氏

## 国立研究開発法人国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター視察

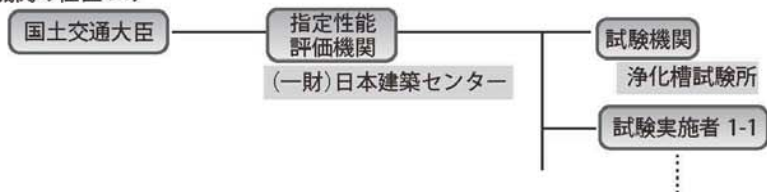
平成28年10月18日(火)に、田中副会長、甲斐製造専門委員会委員長及び藤本事務局長と佐々木検査員が、茨城県霞ヶ浦の国立研究開発法人国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センターを視察いたしました。

同施設は、実生活排水を制御・供給し、現場に近い状況で技術開発・評価研究を実施できる機関です。

また、(一財)日本建築センター 評定部浄化槽試験所では、浄化槽の性能評価試験等も行われています。

### 浄化槽に係わる試験システム

☆機関の位置づけ



☆機関の指定と登録



### 大臣認定取得までの手続き

手続き①



手続き②



手続き③



A 社工場  
出典：A 社ホームページ



大臣認定書

## 「浄化槽シンポジウム大分2016」において「熊本地震」に関する報告

「浄化槽シンポジウム大分」が、大分県と大分県浄化槽普及促進協議会及び(公財)大分県環境管理協会の主催で、平成28年11月15日(火)に大分市のホルトホール大分において開催されました。

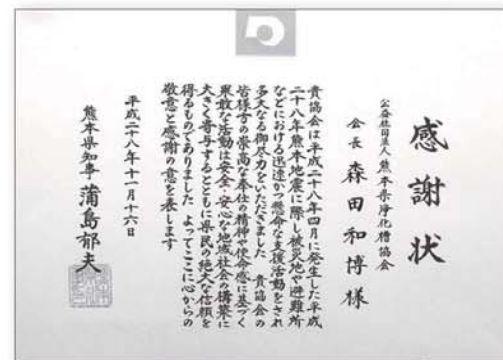
当シンポジウムの講演「熊本・大分地震に浄化槽関係者はどう対応したか」において、発表者として当協会野村法定検査部長が「平成28年度熊本地震(公社)熊本県浄化槽協会の対応について」と題し報告を行いました。当講演では、熊本県環境整備事業協同組合 総務部長河津敬文氏より「熊本地震」と題する報告も行われました。

会場には、浄化槽の維持管理に関わる業者や行政等の浄化槽関係者135名が参加し、大分県も地震の被災地であることから熱心に視聴されました。



## 平成28年熊本地震に係る感謝状の贈呈について

平成28年熊本地震に係る感謝状の贈呈式が、平成28年11月16日(水)に県庁行政棟本館地下大会議室において行われました。当協会からは森田会長が出席し、被災地や避難所等における迅速かつ懸命な支援活動を行ったとして蒲島県知事より感謝状が贈呈されました。







## 第30回全国浄化槽大会

平成28年10月3日(月)に、東京都千代田区のホテルブランドパレスで「第30回全国浄化槽大会」が行われました。毎年大会では、浄化槽関係事業の発展向上に顕著な功績のあった功労者を表彰する記念式典や記念講演が行われます。

今年は以下の内容で実施され、当協会からは森田会長、藤本事務局長、谷本総務部長が出席しました。

- (1) 日 時 平成28年10月3日(月)14:00~16:30
- (2) 主 催 浄化槽の日実行委員会(浄化槽関係団体16団体)
- (3) 後 援 環境省、国土交通省
- (4) 場 所 ホテルブランドパレス(東京都千代田区)
- (5) 内 容
  - 挨拶:環境大臣、国土交通大臣
  - 浄化槽適正整備推進決議
  - 表彰式: 環境大臣表彰、国土交通省土地・建設産業局長表彰、国土交通省住宅局長表彰、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長表彰
  - 記念講演: 講師:元環境事務次官 中間貯蔵・環境安全事業株式会社 代表取締役社長 谷津 龍太郎氏(やつ りゅうたろう)
  - 演題:「浄化槽への期待」

## 熊本地震に関する 要望書の提出

平成28年9月7日(水)熊本市の熊本ホテルキャッスルにおいて参議院議員足立敏之先生への熊本地震に関する要望会が開催されました。

この要望会は熊本県建設産業団体連合会が行なったもので、協会も右のとおり要望書を提出しました。



### 参議院議員

### 足立敏之様

## 要 望 書

今回の熊本地震における年別浄化槽施設の被害については、下水道施設である浄化槽は市町村整備事業(市町村設置型)で設置された浄化槽に関しては、その復旧・復興に向け公営団体の単独で被害調査、復旧が行われています。

浄化槽市町村設置型(個人設置型)により設置された浄化槽についても公共用水域等の水質保全、公衆衛生の向上に多大に寄与するものであり、それゆえに国の交付金等の助成を受け整備されているものではありますが、被災した浄化槽には公営補助制度がありません。

個人が所有する浄化槽についても、水環境の保全、公衆衛生の確保及び被災者を公平に救済するという観点から、今回の熊本地震による被災浄化槽の復旧・復興に同様の補助的な支援を行う必要があるため、以下の要望をいたします。

#### 1. 熊本地震の被災者に向けた浄化槽の維持管理費に対する公的助成を 要望します。

浄化槽が所期の機能を発揮するためには適正な維持管理(清掃・保守点検・法定検査)の実施が不可欠となっております。

今回の熊本地震のような甚大な被害が発生した場合、被害の状況を把握しいち早く復旧工事等を行うことが水環境保全及び衛生面からも必要となります。

しかしながら、被災者に向けた維持管理費の公営補助制度は設けられていないため、浄化槽法で定められた維持管理の実施に係る維持管理費(清掃料、保守点検料、法定検査料)の支払いが被災された方々にとって大きな負担となっております。

つきましては、地震等の大規模災害の被災者に向けた清掃料、保守点検料、法定検査料への公営補助制度の新設を要望します。

#### 2. 熊本地震により被災した浄化槽の修理への公的助成を要望します。

今回の熊本地震により多くの浄化槽が被害を受けましたが、現行の制度では個人設置浄化槽の修理に際し、公営補助制度は設けられておらず被災された方々は生活圏に多大の被害を蒙る中で、個人の負担による管理を放棄されております。

つきましては、地震等により被災した浄化槽の修理に対する公営補助制度の新設を要望します。

平成28年9月7日

公益社団法人 熊本県浄化槽協会

会 長 藤 田 和 博

## 環境省「熊本地震浄化槽被害状況調査」にあたって

この「熊本地震浄化槽被害状況調査」は、熊本地震による浄化槽の被害状況調査について環境省からの委託を受け、協会会員の協力を得て実施したものです。

平成28年4月14日午後9時26分、熊本県熊本地方を震源地とするマグニチュード6.5(最大震度7)の前震が発生し、その後、平成28年4月16日午前1時25分、マグニチュード7.3(最大震度7)の本震が熊本を襲いました。

この巨大な2つの地震では、県民の生命、財産、ライフラインさらには熊本城等の文化財や阿蘇等の観光資源をも傷つき失うという未曾有の大災害となりました。

多くの人々が被災し悲痛な思いを抱え復旧に向け自ら懸命に取り組んでおられる中、協会は、復旧・復興の一助となるとの思いと浄化槽を通して水環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与する必要があることから、調査を受託し実施することとしました。



調査方法につきましては、理事会、維持管理委員会で協議を行い、日常の保守点検で浄化槽管理者とコミュニケーションが取れていることと、震災前後の浄化槽の状態を把握している必要があることから、豊富な情報を持っておられる浄化槽管理士が重要な役割を担う最適者であると決議され、調査地域(被災地域)の浄化槽の維持管理を行っている会員の協力を得て実施することとなりました。

調査地域の会員にとりましては、会員自身の住居や事業所も甚大な被害を受けており、また、地域の復旧に向け全力で取り組まれている大変な状況の中、調査の趣旨や協会としての役割に理解いただき、被災地域を現地調査するという困難な調査業務に、まさしく献身的・精力的に、全面的な協力をいただくことで実施することができました。

今回の調査は、浄化槽の被害状況を把握し水環境の保全及び公衆衛生の確保を図るための大変重要な調査となりました。

この調査結果は今後も起こりうる大規模地震・災害等に対する備えと施策の一助となるものであり、それぞれの災害状況に応じて活用されることを期待します。

なお、今回の調査結果は報告書として取り纏め、会員の皆様にご送付させていただきます予定です。



## ごあいさつ



平成29年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平素より当協会の事業につきまして、格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、4月の熊本地震、6月の集中豪雨、10月は阿蘇の爆発的噴火があり、暮れには鳥インフルエンザが発生するなど災害が多い一年でした。

熊本地震では、会員はじめ関係者の皆様には、浄化槽の応急復旧や仮設トイレの設置等生活環境の保全に大変ご苦労いただきました。

このような皆様の緊急時における崇高な奉仕の精神や使命感に基づく行動に対し、敬意と感謝の意を表して、蒲島知事より感謝状が贈呈されました。贈呈式が行われました昨年11月には協会を代表し出席させていただき、これからも熊本の復興に向け、水環境保全を担う協会としての使命を強く認識し、よりいっそう努力していこうと決意を新にしたところでした。

環境省と全浄連から依頼を受けました熊本地震による浄化槽の被害状況の調査につきましては、未曾有の地震を経験した者として後世にその実態を伝える必要があると理事会等からの意見もあり、会員の皆様には被災されながら復旧作業や支援等に奔走されている中、大変なご負担をおかけすることになりましたが、調査にご協力いただき心より感謝し御礼を申し上げます。これまでにない地震による浄化槽への影響、また、今後の被災浄化槽の復旧を図る上での貴重な資料として、現在、維持管理専門委員会でまとめているところであります。

災害が発生し普段の生活ができなくなった時、被災された方々が一番困られたのはトイレだと新聞等で報道されています。今回の地震もそうでしたが、私たちは、浄化槽を通して人々の健康や生活環境保全等の重要な役割を担っており、これからも人々の快適な生活を維持していくため、その役割を十分に果たしていかなければならないと思っております。

本年も皆様のご支援ご協力のもと、浄化槽の普及等に努めてまいりますので指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年一年の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

公益社団法人 熊本県浄化槽協会  
会長 森田 和博

## 平成28年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰

平成28年度の環境大臣表彰授賞式が、平成28年10月3日(月)東京都千代田区のホテルブランドパレスにて執り行われました。

本年度の受賞者は次の方々です。

成瀬 徳晃 様 (御船支部 ㈱成瀬でんき)

澤村 安博 様 (八代支部 ㈱八代郡浄化槽管理センター)



成瀬 徳晃様



澤村 安博様(代理 澤村 始様)

## 平成28年度環境整備功労者知事表彰(浄化槽関係)の受賞者決定について

平成28年度の知事表彰の受賞者が決定いたしました。平成29年2月8日(水)に県庁にて表彰式が執り行われる予定です。

阿部 隆 様 (熊本支部 ㈱環境総合)

坂本 玉美 様 (熊本支部 ㈱共栄総合メンテナンス)

武田 敏雄 様 (天草支部 日新設備㈱)

田中英雄 様 (天草支部 ㈱熊電施設)

日野 眞一 様 (菊池支部 ㈱日野環境)

柚木 昭 様 (八代支部 (協業)八代清掃公社)